

## 市と町内会との協働について（検討内容）

### ○人材について

町内会では、役員の高齢化や担い手不足、負担増といったことが大きな課題としてある。そのため、若い世代の取込みが必要と多くの町内会が認識している。若い世代を町内会に取込むためには、ホームページやフェイスブックなどのITを活用することが有効と考えられる。

未加入者を増やさないため、転入手続きの窓口付近に町内会加入の案内や転入先の町内会一覧を設置し、転入者に対する加入促進の取組みを行っている例もある。また、オートロック式のアパートで未加入の場合には、大家の協力がなければ加入してもらうことは、困難である。

町内会活動を行っていく上で、人手が必要となるため、スーパーやコンビニエンスストア、地域の企業等にも協力を要請するなど人材を確保し、役員の負担を軽減していくことも必要である。

### ○情報について

町内会の活性化には、やはり町内会活動の見える化ということが重要であり、町内会に加入しない要因の一つに「町内会が、何をしているのか分からない。」といったことが挙げられる。まずは、町内会活動をしっかりPRするという情報発信の強化が必要となる。

多くの町内会で会報やチラシなどを配布しているが、若者にはあまり見てもらえないといった現状があるため、若者への周知には、工夫が必要である。

他の町内会との情報共有のため、各町内会の総務部長や会計担当部長などのように部門ごとに担当者が集まり、実務的な話やざっくばらんに話せる機会があるとよい。また、各町内会の活動状況やよい取組などをいつでも知ることができる体制を整備するなどの情報共有が必要である。

### ○その他

市や町内会連合会は、町内会役員と情報交換を行うなど町内会の課題をしっかりと把握し、積極的に町内会の課題解決に向けて取組む姿勢が必要である。

町内会では、多くの問題を抱えているが、町内会単独で解決が困難なものもあるため、他町内会や他団体との連携の橋渡しを行ったり、広報とまこまいを利用して町内会の取組みを周知することや町内会ポータルサイトのようなものを作るといった支援も考えられる。

他にも財政面での支援など、市や町内会連合会が、様々な方法で町内会をバックアップする体制が必要である。